



Rails技術者認定ブロンズ 二次ベータ試験レポート

平成23年3月吉日



Rails技術者認定試験運営委員会
Mail: office@railscp.jp
公式Twitter <http://twitter.com/railscp>

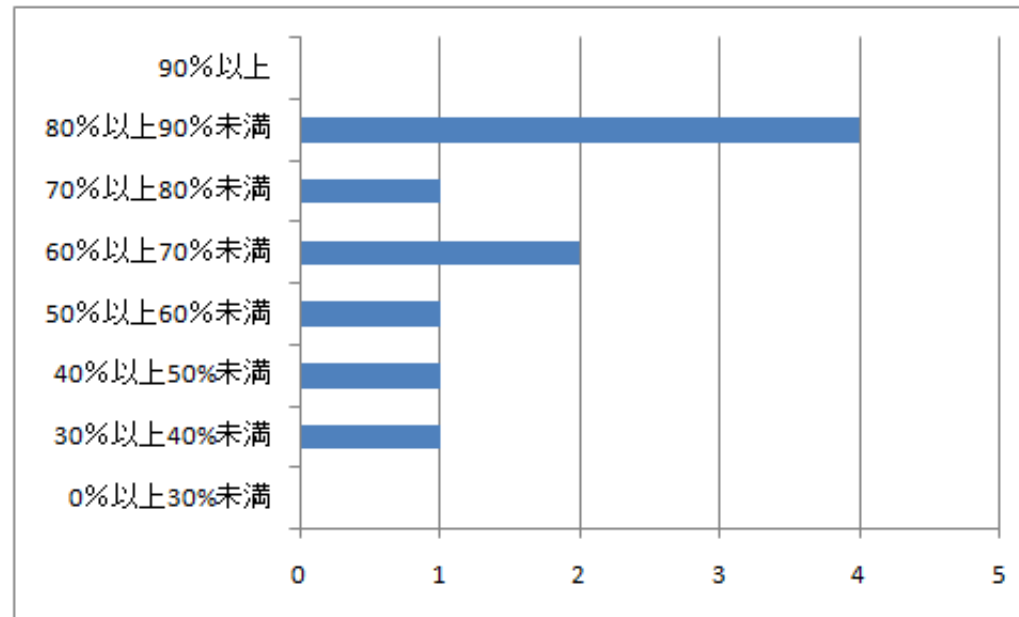
- 名称
 - Rails 3 技術者認定ブロンズ・二次ベータ試験
- 種別
 - ブロンズ試験: Ruby on Railsの基本知識を問う試験(ベータ試験)
- 実施日程
 - 2011年2月24日(木)
- 目的
 - Rails3技術者認定ブロンズ試験の品質最終調整
- 対応バージョン
 - Rails 3.0
- 受験料金
 - 無料
- 試験会場
 - アイティメディア 本社機会議室
- 出席人数
 - 10名

受験者属性

- プログラミング歴 14.5年
- Rails歴 3.0年
- 年齢分布
 - 20代未満 0人
 - 20代 2人
 - 30代 5人
 - 40代 3人
 - 50代以上 0人
- 立場
 - IT会社勤務 9人
 - フリーランス(IT) 0人
 - 非IT系会社 1人
 - 学生 0人

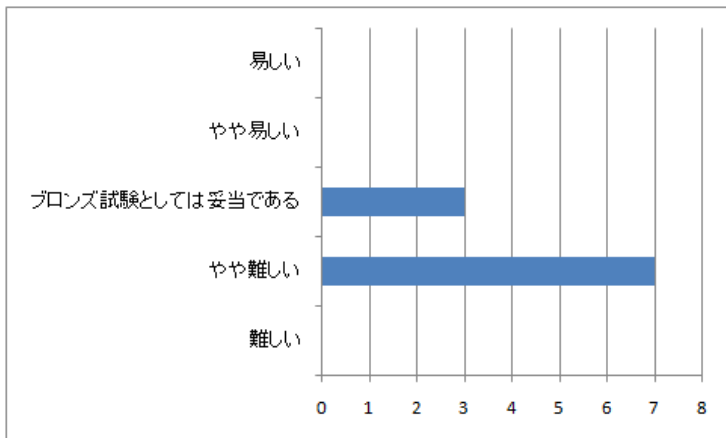
試験結果

- 受験者数: 10名
- 合格者数 5名
- 合格率 50%
- 正答率 66.5%
- 正答率分布

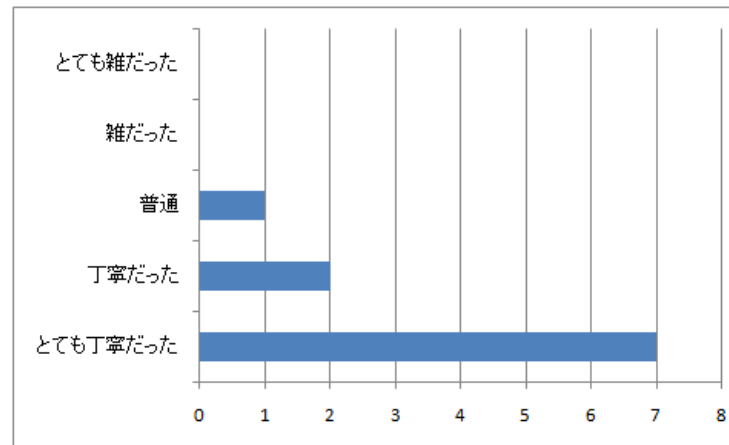


アンケート結果

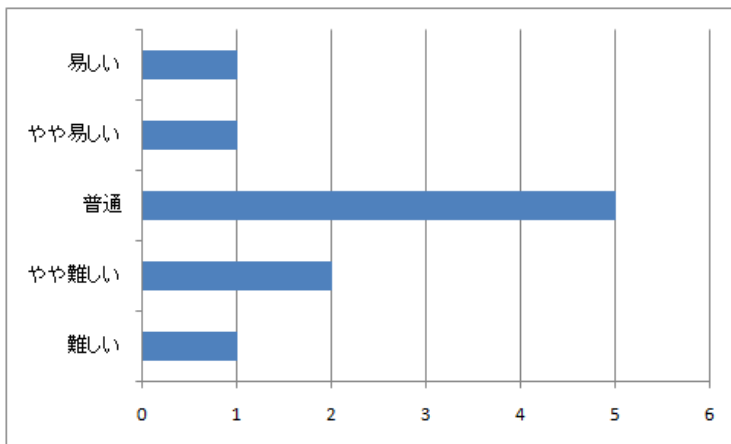
■ 技術的な難易度



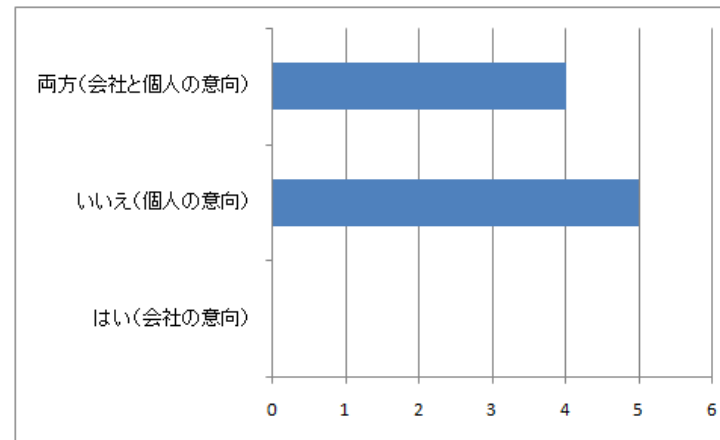
■ 運営について



■ 問題文の分かりやすさ



■ 申込は会社の意向である



1. 試験問題の【技術的難易度】についてのコメント

- 妥当な感じになりました。
- 無意識に使っている事が多いので、いざ問題になると非常に難しく感じます。
- 前回ベータと比べ、基本知識の問題が多かったのが良いと思います。
- 前回と比べてすごく良くなったと思います！
- おおむね妥当だが、一部複雑な問題があった。
- "トリッキーな挙動の設問が気になる。ブロンズであればもっと基本的な動きの理解を問うべきでないか？ Scaffoldで出るコードをねちっこく問うくらいで良いのでは？"
- Rails3としての違いを強調する必要はあるのかと思いました。

2. 試験問題の【分かりやすさ】についてのコメント

- 曖昧な点や前提を推測する必要がある部分があった。
- 文章は理解が容易でした。
- アプリケーションのトップという表現に違和感を感じました。
- 変な日本語はほとんどなくなっており、良かったと思います。
- 全て本当にありそうなメソッド名で、良い意味で迷いました。
- むずかしくも易しくもなく、妥当。
- 問題の前提となる条件が曖昧すぎる。
- 未定義の変数や現在時刻を使わない方がいいのでは。

3. ベータ試験の運営についてのコメント

- お疲れ様でした。
- とても良い機会を頂き、有難うございました。
- 有難うございます。

4. 試験への申し込みは所属会社の意向か？ についてのコメント

- 今後ともこのような機会があれば是非参加したいと思います。

6. 試験運営委員会やベータ試験についてのコメント

- 難易度調整お疲れ様でした！問題用紙にコメント記入しましたので、参考になれば幸いです。
- こういった試験があることで、企業内での認知や存在が向上していけば嬉しいです。
- Railsを勉強していくにあたって、この様な認定試験があるとモチベーションがあがります。
- 実際の試験を楽しみにしています。新人に受けさせたい！
- "とりわけRailsはバージョン毎の差があるのと、更新速度が速いので大変かと思いますが、頑張ってください。あと、個人情報保護方針の紙の「利用目的について」の2項が見た目が変わります。"
- 技術を広めるのに、資格は有用なので、Rails試験には大いに期待しています。
- 本試験まで大変かと思いますが、頑張ってください。
- コンテキストが足りないところが気になりました。

ご不明な点は事務局までお気軽にお申し付けください。

Rails技術者認定試験運営委員会 事務局(アールラーニング内)

Mail : office@railscp.jp

公式Twitter <http://twitter.com/railscp>

TEL: 03-6457-7021 FAX: 03-6457-7022

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-11-6 VARCA四谷 3F